

輝け！ 一小子 No.11

発行者 校長 上村哲也

2学期 がんばった子どもたち

いつもより始まりが早く、少し長かった2学期でした。多くの行事も無事に終わることができ、実りの多い学期となりました。そのような中、一番うれしく楽しかったことは、前向きにがんばる子どもたちの姿をたくさん見られたことでした。例えば、廊下のぞうきんがけに黙々と取り組んでいた子、間違った問題を繰り返し練習していた子、友だちに手を差し伸べる優しい子など、この紙面ではとても伝えきれません。終業式では、コロナ禍の中にあっても、前向きに生活する子どもたちに、その素晴らしさを伝えました。

さて、本日お配りした通知表には、それぞれの子どもたちの足跡が記されています。私たちも限られたスペースの中で、一番お伝えしたい姿を記すよう努めました。通知表をもとに一緒に2学期の歩みをふり返っていただき、楽しい冬休みをお過ごしください。

校内持久走大会の変更等について

- 日時 4年生・・・1月27日（水） 3・4校時
5年生・・・1月28日（木） 3・4校時
6年生・・・1月29日（金） 3・4校時
- 内容など
- ・事故等防止のため、校庭を走ります。校外には出ません。
 - ・密にならないように、学級毎、また、男女別に走ります。
 - ・児童の運動量を考慮し、従来より短い距離を走ります。コースについては検討中です。



※3年生以下の児童については、今年度の運動量や体力の状況、安全面などを考慮し、大会を中止することとしました。通常の授業の中で持久力を高める運動を行います。

総合的な学習の時間のコマ（4年生の環境教育「水と緑の館林を守ろう」）

環境活動家「地球を守ろう」代表 谷口たかひさ氏の講演から 12/18(金)2校時

地球温暖化による危機を世界中の事例から知った児童は、大きな衝撃を受けていました。

「みんなが知れば必ず変わる」をモットーとする「地球を守ろう」の活動は、多くの人たちの心を動かし、大阪では小学生が中心となって環境保護を訴える活動も行われているそうです。

谷口氏は、「プラスチックゴミを減らすこと」を訴え、地球温暖化問題との因果関係を説明してくれました。児童は、「レジ袋の有料化がなぜ必要か」理解することができたようです。

その後の給食では、残さずに食べようとしていた児童もいたそうです。

谷口氏からの4つのメッセージ

- 1 世界で何が起きているか知ること
- 2 その理由を知ること
- 3 何ができるか考えること
- 4 行動すること



温暖化で獲物を失い餓死寸前のホッキョクグマ

目的をもって力強く行動している人からは、多くのことを学べます。自分の歩みを熱く語る谷口氏から、人としての在り方や生き方を考えた児童も多かったようです。身を乗り出して話を聞き、一生懸命メモを取る児童の姿が印象的でした。

（団体の活動は「地球を守ろう」HPで）